

新たな飛躍の一年に

平成19年 年頭にあたって

「豊かで活力のある 南島原市」をめざして

南島原市議会議長 日向 義忠



市民の皆さま、新年明けましておめでとうございます。皆さまにおかれましては、新たな希望と期待の中で、新春を迎えられたことと心からお慶び申し上げます。今年も皆さまにとりまして、良き年でありますよう心からお祈り申し上げます。

南島原市が誕生してから10カ月となります。ご承知のように、この南島原市は、南蛮文化やキリシタン文化などの歴史的史実に恵まれ、また豊かな緑や美しい海岸線を有する雲仙天草国立公園にも含ま

新年あけましておめでとうございます。
市民の皆様には健やかな新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

南島原市長 松島 世佳



昨年を振り返って見ますと、8カ町が合併し、新市「南島原市」発足という記念すべき年となりましたが、慌しく過ぎた一年ではなかつたかと存じます。私たちは、将来のため、合併を選択したわけですが、その間、市民の皆さまには、暮らしの中で戸惑われたことなど、いろいろあられたかとご推察いたします。それにもかかわらず、行政推進に特段のご指導、ご協力をいただき、誠にありがとうございました。今後とも、議会運営にあたっては、皆さま方のご意見、ご要望を拝聴し、「市民の皆さまがより一層快適に住み、働き憩うことのできる南島原市」の実現を目指し、議員一同、力を合わせ、一層の努力をしていく所存でございます。

また、国内外ともに著しく変貌する社会情勢の中で、あるいは国・地方の行財政制度改革が推進される中、地方においては、今後、さらに厳しい財政による行政運営が求められると予想されます。本市においても、市民の生活圏域の拡大や高度情報化社会への対応、少子・高齢化社会をむかえての子育て支援や介護保険をはじめとする保健福祉の充実、環境問題やゴミ処理対策などの行政課題が山積しております。

定するよう取り組んでまいります。「南島原市」建設の一步一歩が力強く踏み出していきけるよう、また、市民の皆さまの一層の幸せを推進するために、精魂を傾ける決意をしているところでございます。終わりに、豪雨災害や台風災害で被災

れる自然環境のすばらしい地域です。あわせて、長崎県農業を支える主要な農業生産地域で、観光や漁業、水産加工業、そうめん産業を始め多種多様な産業が脈々と受け継がれている地域です。新市誕生にあたり策定された建設計画においては、8町のこれまでの歴史と実績の上に、新市南島原市の基本理念として「南向きに生きよう。緑とぬくもりのある感動創造産地。太陽と自然の恵みでひとときを輝く南島原市」を掲げています。

私はこの理念を実現するため、新市に引き継がれた可燃ゴミ袋の販売単価の調整や、公共下水道の供用開始に向けた取り組みなどの諸課題を一つ一つ解決するとともに、産業の育成や雇用の確保、健康づくりと福祉などの各種施策を、これまで努力してまいりました。

さて、昨年を振り返ってみますと、私が市長に就任した直後の7月から8月にかけて、新市を活気あふれるふるさとにするため、誰でも参加でき市民の皆様の見聞や地域の声を伺う、市民懇談会（タウンミーティング）を8会場で開催いたしました。

9月には秋篠宮同妃両殿下にめでたく親王殿下がご誕生されましたことを、南島原市民と共に祝い申し上げました。また、市の花に「ひまわり」市の木に「あこう」が決まりました。

10月には西有家町出身の自治大学校長吉田哲様や金子原二郎長崎県知事など多くの来賓をお迎えし、南島原市誕生記念式典を開催したところであります。

一方、7月と8月の集中豪雨では道路や農地等に災害が発生し、9月の台風13号では停電によって市役所のIP電話が

しかしながら、私たちは、今こそ南島原市のおかれた現状を直視し、そして南島原市の未来について熟考し、「豊かで活力のある南島原市」の実現を目指し、行動していく必要があると考えております。「隼より始めよ」とは、大きなことをするには、小さいことから始めよ、転じて何事をするにも、まず自分自身が率先して始めよ、という中国の古いことわざですが、私たちが「まずできること」から、その課題に意欲的に取り組む覚悟であります。

どうか、市民の皆さまにおかれましては、南島原市発展のため、未来のため、今までの温かいご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

どうぞ、この年が皆さまにとって、心安らかな年となりますようお祈り申し上げますとともに、ご健勝、ご多幸を心よりご祈念申し上げます。年頭のご挨拶といたします。

された方々にあらためて心からお見舞い申し上げます。本年も市政に対する一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。皆様のご多幸とご健勝を祈念いたしまして、新年のご挨拶といたします。

不通となるなど、市民の皆様にご迷惑をおかけいたしました。

11月には、私的な流行は認められなかつたものの、合併前の業者への預けや消耗品名目での備品を購入するという不適切な物品調達の問題が認められました。これは、市長として重大な責任を感じており、市民の皆様に深くお詫びいたします。全職員があらためて「公金」の取り扱いに對する責任を自覚するよう指導し、決して過ちを繰り返さないよう意識改革を行ってまいります。

新市を取り巻く行財政を展望しますと、合併に基づく国、県からの財政支援があるといえども、市税の伸びは期待できず、国の三位一体改革など、厳しい状況にあり、その中で高度化・多様化する住民ニーズに対応するとともに、時代が求める自己決定・自己責任を果たしていかなければなりません。

今年は、南島原市も2年目を迎える年となり、新たな段階に入ります。私は市長就任にあたり、南島原市を活気あふれるふるさとにするため、「新しいしくみ」「産業の振興」「観光の推進」「教育・文化の充実」「住みよい地域づくり」について、33項目の「ローカルマニフェスト」を発表いたしました。この「ローカルマニフェスト」については、現在策定中の行政改革大綱や集中改革プランとの整合を図った上で、できるものから順次実施に向けて取り組んでまいります。

また、合併協議会で決定されたこと、これまで培った政治経験と市民の皆様の声を取りながら、夢あふれるまちづくりのため、各種施策を実現に向けて実施するとともに、昨年、行政改革推進委員会か

